

母の別り方などといふ一ちよぶ字を母も位号の
 元を別り心成死つべしと云ふ女性なり

奧前全色畫元佐藤忠信所卜屋事

奥州平泉を三門四面八尺向り但中堂の柱布地を
塗上げ金を附け金張珣珣七宝の蔭柱碑碣碼碯彫入
由文次二年寺衝法造との由りて面をこまに陰彫基
衝寺衝三代の石死骸を納む寺衝の柱の四十二房泉三郎忠
衡の法首なり右の上と古伊勢といふを所順也坊祇

十の二之年形様は年信を移す所細き三の推開
 おく一の形生れ信付く所成徒の老信異右推開見ふ
 二の三の年一も不様と顔形等と之を年一殊と三
 秀衡の子衆三郎首斗あり之にも推し下りて右之
 通は推し下りて右形様申す不々此等と以て
 右形生元禄年中の如く五十も程に前より見ゆと申
 されけり右の如く是と金之重と下りて右の如く
 無の如く也海へ去る一推師は魚所中変不成也其故は魚
 走に等して等なり也信之七重は戸と云ふ往古秀衡子